

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

白上下水第0619002号

令和5年6月19日

大分県知事 佐藤 樹一郎 殿



提出者

住所 白杵市大字白杵72番1

氏名 白杵市長 中野 五郎

電話番号 0972-63-1111



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	白杵終末処理場
事業場の所在地	白杵市大字板知屋字大寺浦
計画期間	令和5年度

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	下水道終末処理場
②事業の規模	
③従業員数	9名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	初沈汚泥 ⇒ 重力濃縮 終沈汚泥 ⇒ 遠心濃縮 ⇒ 消化 ⇒ 脱水 ⇒ セメント材料

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

白杵市長 (廃棄物処理統括責任者)



上下水道課 (産業廃棄物管理担当)



現場管理責任者 (委託管理会社)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】	
産業廃棄物の種類	有機性汚泥（下水汚泥）
排 出 量	7,961 t
(これまでに実施した取組)	
<ul style="list-style-type: none"> ・消化槽により、減量化を図っている。 	
【目標】	
産業廃棄物の種類	有機性汚泥（下水汚泥）
排 出 量	14,000 t
(今後実施する予定の取組)	
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、消化槽により減量化を図る。 	

産業廃棄物の分別に関する事項

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
①現状	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（ 年度）実績】	
①現状	産業廃棄物の種類
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量
(これまでに実施した取組)	
【目標】	
②計画	産業廃棄物の種類
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量
(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】	
① 現状	産業廃棄物の種類
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量
(これまでに実施した取組)	
・脱水機により減量化を図っている。	
【目標】	
②計画	産業廃棄物の種類
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量
(今後実施する予定の取組)	
・今後も脱水機により減量化を図る。	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度(令和4年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥(下水汚泥)	
	全処理委託量	910.0 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	910.0 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			
・セメント原料として再生利用している。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥（下水汚泥）	
	全処理委託量	1,200 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1,200 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
・今後もセメント原料として再生利用を行う。			
※事務処理欄			